

ビッグレスキューかながわ 2026 参加報告

2026年9月1日

海老名総合病院

Report 地域の命を守るために！大規模な災害医療訓練を実施

9月1日「防災の日」、神奈川県が主催し、医療機関や防災関係機関などと協力して実施する大規模総合防災訓練「ビッグレスキューかながわ」が開催されました。今年7月に神奈川県の「災害拠点病院」に指定された海老名総合病院では、地域の医療を守る司令塔となる「DMAT(災害派遣医療チーム)活動拠点本部訓練」を実施しました。

★訓練のポイント

都心南部直下地震（最大震度6強）の発生を想定。座間総合病院をはじめ、地域の被災状況や病院のSOSを迅速に集約し、最適な医療支援を行う手順を実践的に確認しました。



Training 訓練の様子：各チームに分かれ情報を共有・整理



海老名総合病院 救命救急センター医長・統括DMATの高田医師の指揮のもと、各チームに分かれ活動を開始。



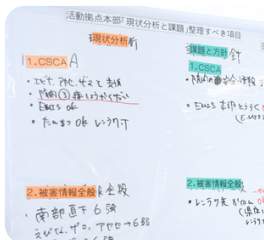
情報収集・EMIS入力
近隣(海老名・座間・綾瀬市)医療機関のライフラインや被災状況などの収集、EMIS(広域災害救急医療情報システム)の入力などを行います。



院内管理・物資支援要請
院内の被災状況やライフラインの確認、物資の支援要請などを行います。



外部機関・行政との連携
外部DMAT隊への役割分担や出動指示、行政機関との連絡・調整を統括します。



Report 深刻な被災状況の座間総合病院 >>> 海老総へ応援を依頼

座間総合病院では、災害対策本部を設置。多数傷病者の来院により、海老名総合病院へ応援を依頼し、2隊のDMAT隊が到着。
座間総合病院 救急科 医長・統括DMATの山本医師の指揮のもと、訓練を実施しました。



Training 訓練の様子：院内の情報収集およびDMATへの情報共有

院内の人的・物的被災状況を確認し、派遣されたDMAT隊へ情報を共有します。DMAT隊は院内の資源を確認し、患者さんのトリアージや他病院への搬送も検討しました。



DMAT 訓練に参加した他院DMAT：県内の病院から7隊のDMATが海老名総合病院に参集しました

- 北里大学病院
- 茅ヶ崎市立病院
- 横浜市立大学附属市民総合医療センター
- 湘南鎌倉総合病院
- 横浜市立みなと赤十字病院
- 昭和医科大学横浜市北部病院
- 関東労災病院

Summary 反省会・総括：訓練後には反省会と、医師からの総括がありました

海老名

若井医師から一言
海老名総合病院 救命救急センター 副センター長
災害対策・医療ガス安全管理委員会委員長
DMATコーディネーター
このたび当院が災害拠点病院となったことで、このような実践的な訓練を開催することができました。今後もこういった訓練を通じて、より行政を含めた他機関との連携を密にしていきたいと思います。

座間

山本医師から一言
座間総合病院 救急科 医長 / 統括DMAT
座間総合病院は座間市唯一の災害協力病院であり、災害時にも地域に信頼される医療機関にしていこうと、皆で推し進めましょう。